

事故・ヒヤリハット事例の収集方法について

課題

令和4年10月1日より、
 ・「事故」は、事故報告書で市教委に報告する。
 ・「ヒヤリハット」は、共有フォルダにある「ヒヤリハット報告シート」にその都度入力する。
 としたが、現在のところ報告がない。

原因

- 報告について、まだ認知度が低い。
- 校内において、ヒヤリハットの段階で報告する体制ができていない。（異物混入は、栄養教諭や市教委に報告する体制ができているが...。）
- 職員間で、食物アレルギーへの危機意識に温度差がある。

1

改善策 (案)

【認知度の向上】 事故・ヒヤリハットが発生したら市教委へ報告することその方法について。

【意識の向上】 ヒヤリハット報告は大事、ヒヤリハットの再発防止が重大事故を防ぐという意識。

【校内体制の整備】 ヒヤリハットの段階で報告する雰囲気づくり、事故・ヒヤリハット事例を集約し、市教委へ報告する体制づくり。



1. 周知の徹底

- ・年度初めに、事故・ヒヤリハット事例の報告について学校に周知する。
- ・ヒヤリハット事例を報告シートに入力する担当者を校内で決めてもらう。

2. 研修会の実施

- ・食育推進連絡会等において、ヒヤリハット報告の重要性について研修する。

2